

令和4年度燕市自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

資料2-2重点

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(次年度以降)の実施計画
重点施策1 妊産婦・乳幼児期への支援									
42 妊娠期より精神面や経済状況に応じた支援	母子健康手帳交付などの機会を通じて、精神面や経済状況等、問題に対応した支援を早期から実施し、継続した支援を行う。	42	教育委員会	子育て支援課		妊娠届出時に全数面接を実施している。妊婦へのアンケートをもとに精神面や経済状況に関する問題等も把握し、必要に応じた情報提供や保健指導している。切れ目ない支援となるよう、随時、関係機関と連携を図っている。	事例各々に対して、適切な窓口へのつなぎや必要な支援の調整、関係機関と連携した対応を行った。		子育て応援課で継続実施
43 子育て全般の相談	子どもの発育発達や生活に関する事など、保健師、栄養士、保育士などが子育て全般の相談に応じる。	42	健康福祉部 教育委員会	健康づくり課 子育て支援課		【健康づくり課】 各種相談会及び訪問・来所・電話・オンラインなど多様な相談体制を整備し、保健師・助産師・管理栄養士等専門職が発育発達や生活に関する事など子育て全般の相談に応じている。 ※各種相談会…予約制育児相談会、2か月育児相談会、オンライン子育て相談、オンライン離乳食グループ相談会、離乳食座談会 【子育て支援課】 ・子育てコンシェルジュ(子育て支援員研修修了者)を市内子育て支援センターや児童館、児童クラブに配置し、市内23施設で開設し、相談方法の充実も図っている。多岐にわたる子育て相談に、幅広い視点を持ちながら各種事業・制度の紹介や関係機関と連携して継続的に対応している。 ・「妊娠からの子育て相談窓口」で、多岐に渡る子育て相談に対応し、幅広い視点を持ちながら各種事業・制度の紹介や関係機関と連携して継続的に対応している。また、園や児童クラブにおける相談支援に対するサポートを行うために、施設への訪問等により助言支援を行っている。	【健康づくり課】 2か月育児相談会や令和4年度から開催している離乳食座談会では、感染対策に留意しながら保護者同志の情報交換を実施し、専門職の保健指導に加えて保護者同志の交流による不安軽減につながっている。予約制育児相談会では予約率約8割うまっており、継続参加につながっている。オンライン相談は外出に困難を感じている人も気軽に参加できている。 【子育て支援課】 ・相談対応に従事する職員の育成に努めるとともに、対面・電話・オンラインと相談体制の充実を図った。 ・相談内容に応じて、適切な事業・制度の紹介やつなぎ、関係機関と連携して対応した。	実施	子育て応援課で継続実施
44 妊産婦もしくは新生児・乳幼児の状況に応じた支援	妊産婦・新生児訪問や医療機関からの退院時情報、乳幼児健康診査の状況から、育児不安・疲労感が強い等、産後うつ病のリスクが高い産婦への支援を行う。 また、新生児訪問を希望しなかった家庭を訪問し、養育環境の把握や助言を行い、児童虐待の未然防止に努める。	42	健康福祉部 教育委員会	健康づくり課 社会福祉課 子育て支援課		【健康づくり課】 子育て支援課と連携し、支援が必要な妊産婦・新生児に対して早期からの関わりを実施している。乳幼児健康診査や各相談会の状況から、育児不安・疲労感の把握や助言を行うとともに、訪問や相談会につなげるなど支援を行っている。 【社会福祉課】 新生児訪問を希望しなかった家庭には、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、状況把握に努めたい。 【子育て支援課】 妊産婦・新生児訪問や医療機関等で把握した要支援妊産婦・新生児に対し、適切なタイミングで介入、継続した支援ができるよう、随時関係機関と連携を図り、対応している。また、各種届出時の面接や各種相談においても、育児不安や疲労感が強い等、産後うつ病リスクが高い産婦を把握した際も、同様に対応している。	【健康づくり課】 関係機関と連携し、状況に応じた支援や体制整備ができています。 【社会福祉課】 事業実施により児童虐待の未然防止・早期発見につながっている。 【子育て支援課】 事例各々に対して、適切な窓口へのつなぎや必要な支援の調整、関係機関と連携した対応を行った。	実施	子育て応援課で継続実施
45 乳幼児健康診査での保健指導	適切な睡眠のとり方、早寝早起き朝ごはんの生活習慣の確立、子どもや保護者の自己肯定感が高まるような保健指導を実施する。	42	健康福祉部	健康づくり課		乳幼児健診にて、就寝起床時間・朝食摂取等生活状況の把握及び保健指導の実施をしている。また、育児環境や育児に対する保護者の気持ちの把握を行い、保護者に寄り添った支援や子ども・保護者の自己肯定感が高まるよう保健指導を実施している。(乳幼児健診96回、幼児歯科健診24回)	健診ごとに、望ましい生活習慣や親子関係形成のために必要なことを伝達するとともに、保護者の気持ちに寄り添った丁寧な聞き取り、支援を行っている。	実施	子育て応援課で継続実施

令和4年度燕市自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

資料2-2重点

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(次年度以降)の実施計画
46 助産師による支援	妊婦学級・育児相談会等で子育てや女性の健康づくりについて相談支援を行う。	42	健康福祉部	健康づくり課		妊婦・両親学級や育児相談会、乳児健診等に従事し、産前産後の身体や授乳、育児について相談支援を行っている。	助産師の専門性を活かした指導や支援が実施できている。必要時、関係職種や他事業と連携し、支援体制を整えている。	実施	子育て応援課で継続実施
47 安心して生き育てられる環境づくり	子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの活動や一時保育、病児・病後児保育をととして子育ての負担軽減を図る。また、保護者が自信を持って子育てをしていけるよう子育て講座を開催する。子育てガイドブックの配付や子育てアプリの配信により、子育てに係る様々な情報を提供する。	42	教育委員会	子育て支援課		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター 利用者数11,250人(9月末現在) ・子育てコンシェルジュ 相談対応件数4,029件(3月末現在) ・ファミリー・サポート・センター サポート件数1,233件(3月末現在) ・子育て支援講座(NP講座、BP講座) <ul style="list-style-type: none"> <BP…全4コマの講座(定員6~12人)> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回(5月/きらら/定員6組、申込7組、全出席人数27人) ○第2回(8月/こどもの森/定員10組、申込9組、全出席人数27人) ○第3回(11月/こどもの森/定員10組、申込6組、全出席人数20人) ○第4回(2月/すくすく/定員12組、申込8組、全出席人数32人) <NP…全6コマの講座(定員10人)> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回(6~7月/すくすく/定員に満たず中止) ○第2回(9~10月/こどもの森/定員10組、申込8組、全出席人数44人) ○第3回(10~11月/きらら/定員6組、申込5組、全出席人数29人) ・子育てにかかる様々な情報は各担当部署と共有しながら毎年更新し、冊子(子育てガイドミニ)の設置、子育てアプリやホームページによる発信等で最新情報を提供している。 	さまざまな事業が連携し、子育て家庭の支援を行った。	実施	引き続き実施する。
48 重点施策2 思春期・青年期への支援									
49 いじめ防止等に関する取組	小・中学校、幼稚園、保育園、子ども園、保護者、地域住民などの関係機関で協議する会議を年2回実施し、各所でいじめ防止に向けた取り組みを進めている。小・中学校ではあいさつ運動や学校生活アンケート、教育相談などを通し、いじめ防止等に取り組んでいるほか、6月、10月はいじめ防止強化月間として気運を高めている。	45	教育委員会 市内各小中学校	学校教育課		10月1日に燕市いじめ防止基本方針を一部改定した。今後各学校が自校のいじめ防止基本方針を改定する。10月25日に、第1回子どもを育む推進協議会を実施予定。燕市いじめ防止基本方針の一部改定を基に、いじめ等の現状と課題を共有した上で、いじめ防止に向けた取組と子どもから見えにくいSOSの捉え方について協議する。	左記事業をととして、学校、家庭、地域、関係系機関等がいじめ等の現状と課題を共有し、協議することでいじめ見逃しゼロの気運を高めている。	実施	今後も、関係機関と連携して事業を継続していく。
50 学校不適応・ひきこもり相談事業	小中学校の児童生徒から39歳までの若者を対象に、不登校やひきこもりに関する悩み相談の窓口(燕スマイル・サポート・ステーション)を開設。電話相談やメール相談のほか、面談、家庭訪問による相談にも対応する。	45	教育委員会	学校教育課		相談のあったケースに、電話、来所、訪問等で対応した。	状況に応じ、臨時相談室を設置するなど児童生徒の心のケアに努めた。 ・令和4年度燕スマイル・サポート・ステーション 相談件数：36件 内容：不登校19件 精神不安定7件 学習4件 家庭内不和3件 ひきこもり1件 交友関係1件 その他1件	実施	今後も状況に応じ、臨時相談室を設けるなど、関係機関と連携し、適切な支援に努める。
51 心の教室相談員派遣事業	生徒一人ひとりの悩みごと、心配ごとに対応するため、各中学校に「心の教室相談員」を派遣する。	45	教育委員会	学校教育課		各中学校に心の相談員を派遣し、生徒の相談に応じた。	気軽に相談できることで、不登校などの未然防止につながった。	実施	今後も、心の相談員を派遣し生徒に寄り添った支援に努める。

令和4年度燕市自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

資料2-2重点

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(次年度以降)の実施計画
52	スクールソーシャルワーカー派遣事業	45	教育委員会	学校教育課		各市内小中学校からの要請に応じ、スクールソーシャルワーカーを派遣した。	令和4年度派遣回数（R5.3月末時点） 小学校 15件・中学校 75件	実施	今後も事業を継続し、児童生徒の環境への働きかけ、問題の未然防止と状況の維持改善に努める。
53	就学援助事業	45	教育委員会	学校教育課		昨年度同様、全ての児童生徒の保護者に対して申請案内を配布しているほか、社会福祉課の実施する児童手当現況届の受付の案内を発送する際に就学援助事業のお知らせのチラシ同封し、窓口において相談があった場合は随時対応を行った。	令和4年度認定者数901人（R5.3月末時点） 年度途中で世帯構成の変更があった場合は窓口において随時制度の説明を行い、申請につながるよう努めた。	達成	今後も、関係部署と連携し、事業を継続していく。
54	子どもへの相談窓口周知	45	教育委員会	学校教育課		・市内全児童生徒にダイヤルカードを配布 ・燕市公式LINEトップページに相談窓口のアイコンを設定	燕市公式LINEのトップページにアイコンを設定したことでメール相談が増加したことは、周知が図れたと評価できる。	実施	今後も継続して周知に努める。
55	児童生徒の自殺対策に資する教育（SOSの出し方に関する）	45	教育委員会	学校教育課		・市内全児童生徒にダイヤルカードを配布 ・燕市公式LINEトップページに相談窓口のアイコンを設定	燕市公式LINEのトップページにアイコンを設定したことでメール相談が増加したことは、周知が図れたと評価できる。	実施	今後も継続して周知に努める。
56	若者就労支援事業	45	教育委員会 三条若者サポートステーション	社会教育課		若年無業者に対し、就労に向けて燕市出張相談を行った。 市民交流センター（第2・4火曜、第2・4木曜） 燕庁舎（第1・3・5火曜、第5木曜） 中央公民館（第1・3木曜） 吉田産業会館（ワクチン接種等のため利用不可） 分水福祉会館（第4火曜） 相談件数 94件 新規登録者 4人 就職（正規） 2人 （非正規） 3人 再就職 0人 ※令和4年9月末現在	ワクチン接種等の影響で相談会場が限られている状況でも、代替施設で上手く対応していただいている。 エコバックの講座やビジネスマナー等の新規講座を実施し、就労につながるサポートをしている。	実施	関係部署と連携し、事業を継続していく。
57	重点施策3 壮年期への支援								
58	職場におけるメンタルヘルス対策等の推進	46	健康福祉部 産業振興部 企画財政部 三条労働基準監督署	健康づくり課 商工振興課 地域振興課		【健康づくり課】 ・三条地域振興局、三条労働基準監督署等と連携し職域連携モデル事業を実施。モデル事業所従業員に対しメンタルヘルスに関するアンケートも実施している ・メンタルヘルスに関する普及啓発リーフレットの設置を依頼している 【地域振興課】 女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム2022 「事業存続のための働きやすい職場環境づくり」 11/25（金）つばめホール ※オンライン併用	【地域振興課】 「働きやすい職場環境づくり」をテーマに、講演とトークセッションを実施。 市内の社会保険労務士に講師とファシリテーターを依頼し、市内企業3社から自社の取組についてお話をいただいた。	実施	継続実施
59	治療と仕事の両立の支援	46	健康福祉部 三条労働基準監督署	健康づくり課		治療と仕事の両立支援に関するリーフレットを窓口継続して設置。	ポスターやリーフレットの設置は保健センター、公民館等にも配布する。	実施	継続実施

令和4年度燕市自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

資料2-2重点

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(次年度以降)の実施計画
60	ワークライフバランスの推進	46	企画財政部 産業振興部 三条労働基準監督署	地域振興課 商工振興課		【地域振興課】 女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム2022 「事業存続のための働きやすい職場環境づくり」 11/25(金) つばめホール ※オンライン併用	【地域振興課】 「働きやすい職場環境づくり」をテーマに、講演とトークセッションを実施。市内の社会保険労務士に講師とファシリテーターを依頼し、市内企業3社から自社の取組についてお話をいただいた。	実施予定	継続実施
61	産業振興協議会	46	産業振興部	商工振興課		産業振興協議会を5/20、10/5、3/28に開催した。	原油・原材料高や電気代の高騰などを踏まえた市内経済の現況についての確認と、第3次総合計画の現況課題について意見をいただいた。	100%	引き続き、産業振興に向け各種課題解決に取り組んでいく。
62	雇用・就労の支援	46	産業振興部	商工振興課		各種支援制度を通じて産業の振興に取り組んでいるほか、令和5年度1月から公式LINEを活用した市内企業の求人情報の配信(ミニイク)を毎月実施。	コロナ禍で事業が停滞していた過去2年にくらべ、市内事業者は積極的に各種支援制度を活用している。	100%	引き続き、各種支援制度を通じて産業の振興に取り組む。
63	重点施策4 高齢期への支援								
64	高齢者を対象とした自殺予防の健康教育	48	健康福祉部	健康づくり課		・フレイル予防も併せ、健康教育を実施。 ・「人生100年時代の健康サポート事業」の一環として事業参加者に対し、後期高齢者の質問表の聞き取りを行い、うつ病や認知症のスクリーニングに活かし、必要な支援、関係危険に繋げるよう取り組んでいる。	実施中	実施	継続実施
65	高齢者の元気増やし活動	48	健康福祉部	健康づくり課		・新規参加者増をねらい6月に「元気磨きたいフェア」を開催。19名が新メンバーとして加入。 ・活動周知のため市広報誌に活動日の掲載やPR動画を配信している。 ・地域のサロンや子育て支援センターなどへ感染対策を講じ元気のおすそわけ活動を実施。	実施中	実施	継続実施
66	地域包括ケアシステムの推進	48	健康福祉部	長寿福祉課		地域ケア推進会議2回(ハイブリッド) 総合事業部会3回(参集) 医療介護連携推進部会3回(オンライン) 認知症支援部会3回(ハイブリッド)	コロナ禍のためオンライン会議を中心にを行ったが、地域住民が多く参加する会議については会場に参集する形で行った。	実施	新型コロナウイルスが5類移行後は、できる限り参集する方法で実施する。
67	地域包括支援センターの設置	48	健康福祉部 地域包括支援センター	長寿福祉課		給付管理数 (4包括合計) 介護予防サービス 455件/月 総合事業サービス 326件/月 介護予防の個別ケア会議 参集で開催 6/22 ハイブリッド 44人 12/16 ハイブリッド 29人	ケアプランを作成するケアマネージャーは、新型コロナウイルス感染の危機を減らすため訪問活動が減少した。介護予防の個別ケア会議もケアチームのみ回収支、膨張の参加者はオンライン参加で行った。	実施	介護予防の個別ケア会議では、リハビリ専門職の助言をケアプランに生かし、より効果的な支援のため家庭訪問が必要な事例には訪問を実施する。

令和4年度燕市自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

資料2-2重点

a 計画における項目	b 実施内容	c 計画書 ページ	d 担当部署	e 担当課	f 再掲	g 令和4年度実施状況	h 令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	i 達成度(%)	j 今後(次年度以降)の実施計画
68 生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを中心に、支え合い活動推進会議（生活圏域年2回程度）などを通じて、住民主体による多様な生活支援サービスの提供体制の構築を図る。また、地域の元気な高齢者が、生活支援の担い手として社会参加をし、社会的役割が持てるよう、「担い手研修」を開催する。	48	健康福祉部 社会福祉協議会	長寿福祉課		支え合い活動推進会議 6回 82人 介護の担い手研修 対象：介護予防・生活支援サービス事業所で働きたい方、地域住民主体活動に活かしたい方 参加人数： 2回 27人 講師：地域包括支援センター職員、社協ヘルパー、健康運動指導士、消防署職員、認知症地域支援推進員、長寿福祉課職員	支え合い活動支援会議 高齢者の社会参加や各圏域の集いの場、ゴミ出し問題について意見が座された。 介護の担い手研修 研修受講生は昨年度を上回る人数となった。 「知識を深めたい」といった動機で参加する住民が多いため、研修内容を再検討して継続開催していく必要がある。	実施	継続実施
69 高齢者に関する総合相談	高齢者に関するよろず相談では、地域の高齢者からの相談に対して多面的、制度横断的なワンストップ相談を実施する。 また、高齢者の権利擁護のために、高齢者虐待の早期発見に向けた地域関係者のネットワーク構築に取り組むとともに、成年後見制度の周知や利用にあたっての必要な支援を行う。	48	健康福祉部 地域包括支援センター	長寿福祉課		高齢者に関する相談を市、地域包括支援センターで連携して対応し必要に応じて関係機関へつないでいる。 高齢者虐待の早期発見に向けた取り組みとして、8月に介護保険事業所職員、2月にケアマネジャーを対象とした研修会を行う。成年後見制度の周知は社協、社会福祉課と協議をしながら取り組んでいる。	市民からの相談対応は迅速かつ丁寧に行った。権利擁護に関する周知は今後も継続して行う必要がある。	実施	継続実施
70 居場所づくり活動	地域の茶の間、サロン、地区健康相談会、介護予防教室等で集まるときに、他者とのつながりを感じながら心穏やかに過ごせる場所を提供することで、心身面における健康の保持増進を図る。	48	健康福祉部 社会福祉協議会	健康づくり課		【健康づくり課】 ・心身の健康を維持増進するため、個別相談を実施し、必要に応じて関係機関との連携を図った。フレイル予防のため、栄養士や歯科衛生士の健康教育も実施。 ・個別相談や健康教育だけでなく、参加者同士の交流促進やひとり一人が主役、輝ける場面の設定を意識し実施している。	実施中	実施	継続実施